

泊発電所1・2号機定期安全レビュー（第3回）の概要

1. 評価対象期間

・2015年4月～2025年3月

（参考）前回評価対象期間：2005年4月～2015年3月

2. 評価結果

(1) 保安活動の実施状況の評価

「品質保証活動」、「運転管理」、「施設管理」、「燃料管理」、「放射線管理」、「放射性廃棄物管理」、「緊急時の措置」、「安全文化の育成・維持活動」の8つの観点から評価しました。

その結果、組織・体制、社内規程類、教育・訓練および設備について、自主的な改善^{※1}、内部評価^{※2}に基づく改善および外部評価^{※3}に基づく改善を適切に実施しており、改善活動が保安活動に定着し、改善活動の見直しが継続的に行われていることを確認しました。また、実績指標^{※4}を用いて、保安活動を行う仕組みがその目的に沿ったものであることを確認しました。これらのことから、今後とも保安活動を行う仕組みが有効に機能していく見通しが得られたものと評価しました。

※1 自主的な改善

内部評価および外部評価によらず、安全性向上のために自主的に行った改善。

※2 内部評価

社長指示事項および内部監査による指摘事項等。

※3 外部評価

原子力規制検査、外部組織による指摘事項等。

※4 実績指標

保安活動が、その目的に沿って有効かつ適切に行われたかを評価するために、各保安活動の実績または傾向などを具体的に監視および測定するための指標。

(2) 保安活動への最新の技術的知見の反映状況の評価

保安活動への最新の技術的知見の反映状況について、「安全研究成果」、「国内外の原子力発電所の運転経験から得られた教訓」、「技術開発成果」の3項目を評価しました。その結果、3項目とも必要な成果や教訓が保安活動へ反映済みもしくは反映中であることを確認したことから、原子炉施設の安全性、信頼性の維持・向上が図られ、保安活動への最新の技術的知見を反映する仕組みが適切かつ有効に機能していると評価しました。

以上より、泊発電所1・2号機の保安活動に対する取り組みが有効に機能していることを確認しました。

3. 今後の取り組み

今回の定期安全レビューの結果を踏まえ、今後とも泊発電所1・2号機の安全・安定運転に努め、保安活動の継続的な改善を図りつつ、蓄積される運転経験や最新の技術的知見を踏まえた保安活動を積極的に実施していきます。

また、泊発電所の安全性向上の追求に終わりはないとの認識のもと、さらなる安全性向上に向けた不断の努力を重ねることにより、世界最高水準の安全性を目指していきます。

以上